デジタルテレビチューナー DTV-H400S マニュアル

BUFFALO

らくらく!セットアップシート

〜 はじめにお読みください 〜

35011502 ver.02 2-01 C10-017

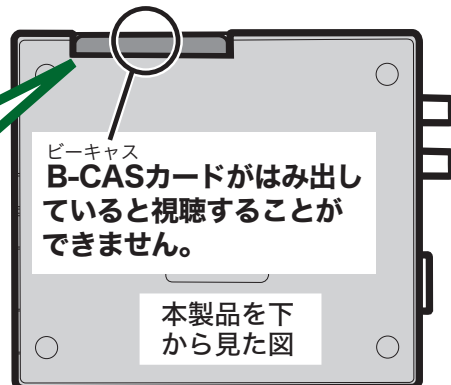
本製品を正しく使用するために、このマニュアルでセットアップを行ってください。お読みになった後は、大切に保管してください。

- 付属品の内容については、本製品の外箱に記載されています。
- 別紙「クイックリファレンス」に記載の「安全にお使いいただくために必ずお守りください」を必ずお読みください。

1 B-CAS(ビーキャス)カード(赤いカード)を図のように奥までしっかり差し込みます

B-CAS(ビーキャス)カードの赤い面が上側になります。

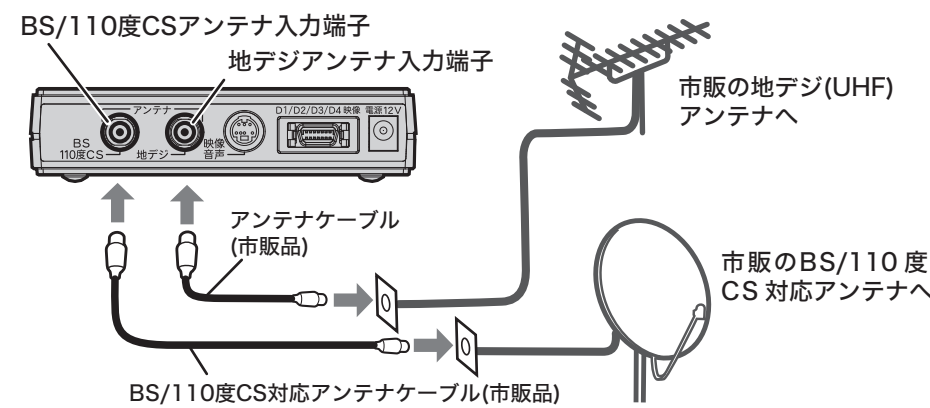
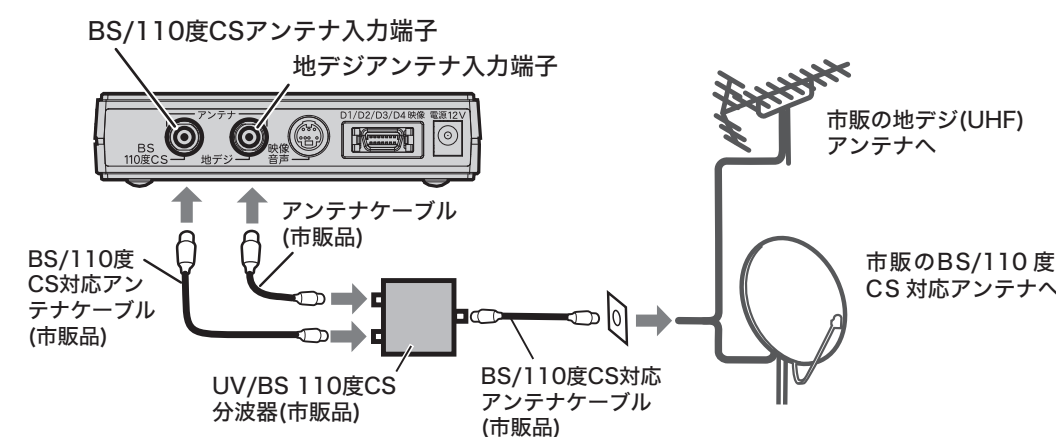
「B-CAS(ビーキャス)」と印字された赤い面が上になる向きで図のように差し込みます。

※B-CAS(ビーキャス)カードは付属の台紙に貼付しています。

固定用テープについて

付属の固定用テープを本体底面と設置する床に貼付し、本製品を固定することができます。

2 アンテナケーブルを接続します

⚠注意 ケーブルを本製品に接続するとき(ケーブルを接続し直すとき、ケーブルを変更するときを含む)は、必ずACアダプターを取り外した状態で行ってください。

地デジとBS/110度CSの信号が混合アンテナでない場合

地デジとBS/110度CSの信号が混合アンテナの場合(マンション等)

3 テレビ、ACアダプターの順に接続します

⚠注意 ケーブルを本製品に接続するとき(ケーブルを接続し直すとき、ケーブルを変更するときを含む)は、必ずACアダプターを取り外した状態で行ってください。

ビデオ入力/音声入力のRCA端子の位置(テレビの前面、背面、側面)、色(黄色と赤/白または黒)はお使いのテレビによって異なります。
詳しくはテレビに付属のマニュアルにてご確認ください。

※上記は付属のビデオ/オーディオケーブル(コンポジット黄赤白色の端子)で接続する例です。

D端子でテレビと接続したい場合

D端子でテレビと接続することもできます **(別途D端子ケーブルをご用意ください)。**
また、本紙うら面に記載の設定画面[本体設定]-[画面と音声の設定]-[D端子出力の設定]で、D端子設定をD1、2、3、4から選択できます。
音声は上記の図のように付属のケーブルで赤・白色のコネクター部分をテレビに接続してください。

S端子でテレビと接続したい場合

変換ケーブルのS端子でテレビと接続することもできます **(別途S端子ケーブルをご用意ください)。**
音声は上記の図のように付属のケーブルで赤・白色のコネクター部分をテレビに接続してください。

※D端子ケーブルを接続した場合、映像は自動的にD端子からの出力となります。

※D端子とS端子(黒色)/RCA端子(黄色)を同時に映像出力することはできません。

※S端子(黒色)とRCA端子(黄色)を同時に映像出力することはできますが、音声はRCA端子(赤・白色)の1台分のみの出力となります。

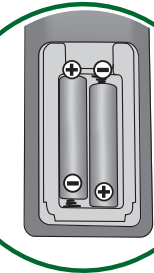
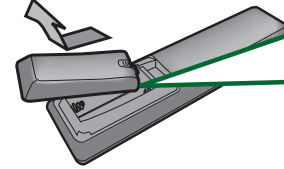
※本製品のS端子はS1端子に対応しています。

※アンテナケーブル(F型コネクター)は今までテレビに接続していたアンテナケーブルをお使いください。

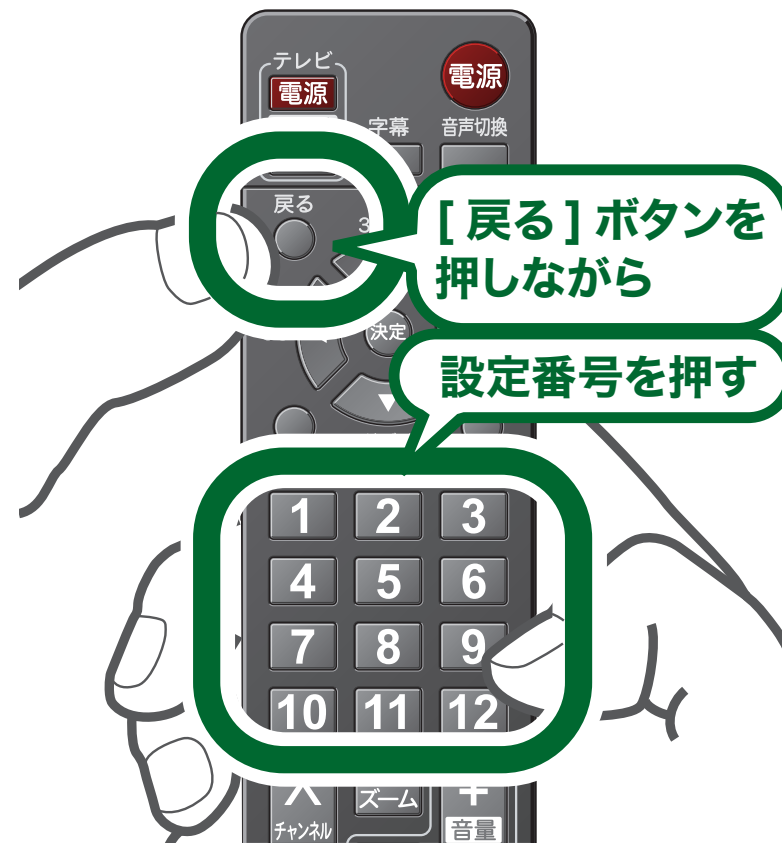
※テレビの入力端子が2つしかない(赤色コネクターがない)ときは、ビデオ/オーディオケーブルの黄色と白色のコネクターで本製品とテレビを接続してください。

右上につづく

4 リモコンの準備をします

❶ 電池を入れます

単四形乾電池2本を図のように⊕と⊖の向きに注意してリモコンに入れてください。

※付属の電池は動作確認用です。短い期間で消耗してしまうことがありますので、早めに新しい電池とお取り替えください。

❷ 付属のリモコンでテレビを操作できるように設定します

1 テレビの電源スイッチでテレビの主電源を入れます。

※まだ付属のリモコンでテレビの電源を入れることはできません。

2 (戻る)ボタンを押しながら、下記の表を参照して、お使いのテレビのメーカー設定番号(1〜12)を押します。

3 (戻る)ボタンから指を離します。

つづいて「❸テレビを操作できるか確認します」で設定できているか確認してください。

■ **テレビのメーカー設定番号**

(例)パナソニック1 :(戻る)ボタンを押しながら、10を押して 、1を押す。

※一つのメーカーでも複数の設定番号があります。動作が確認できるまで設定番号を変えてお試しください。
設定番号を変えて試すときは、一度リモコンの戻るボタンから指を離し、再度手順1から行ってください。

※下記の表にあるメーカーでも製品によっては動作しないことがあります。そのようなときは、テレビに付属のリモコンをお使いください。

※動作しない場合は、お使いのテレビに付属のリモコンをご使用ください。本製品に付属のリモコンが使用できる場合でも、テレビに付属のリモコンは破棄せずに大切に保管してください。

メーカー	設定番号
パナソニック(旧:松下電器)1	10を押して、1を押す
パナソニック(旧:松下電器)2	10を押して、2を押す
パナソニック(旧:松下電器)3	10を押して、3を押す
シャープ1	10を押して、4を押す
シャープ2	10を押して、5を押す
シャープ3	10を押して、6を押す
ソニー1	10を押して、7を押す
ソニー2	10を押して、8を押す
東芝1	10を押して、9を押す
東芝2	1を押して、10を押す
日立1	1を押して、1を押す
日立2	1を押して、2を押す
日立3	1を押して、3を押す

メーカー	設定番号
三菱1	1を押して、4を押す
三菱2	1を押して、5を押す
三洋1	1を押して、6を押す
三洋2	1を押して、7を押す
ビクター1	1を押して、8を押す
ビクター2	1を押して、9を押す
ビクター3	2を押して、10を押す
NEC1	2を押して、1を押す
NEC2	2を押して、2を押す
パイオニア	2を押して、3を押す
富士通ゼネラル	2を押して、4を押す
アイワ1	2を押して、5を押す

メーカー	設定番号
アイワ2	2を押して、6を押す
アイワ3	2を押して、7を押す
船井1	2を押して、8を押す
船井2	2を押して、9を押す
船井3	3を押して、10を押す
船井4	3を押して、1を押す
船井5	3を押して、2を押す
SAMSUNG	3を押して、3を押す
LG	3を押して、4を押す
ORION	3を押して、5を押す
PHILIPS1	3を押して、6を押す
PHILIPS2	3を押して、7を押す

❸ テレビを操作できるか確認します

(テレビ)電源 ボタンを押してテレビの電源を入/切できるか確認してください。

変更できないときは、手順❷を再度行ってください。
設定が完了すると、[テレビ]と記載された枠内のボタンでテレビを操作できるようになります。

⚠注意 **本製品を他のテレビに接続した場合は、上記のリモコンの準備をはじめからやり直してください。**

5 初期設定を行います

テレビ画面の表示にしたがって本製品の初期設定を行います。

❶ 本製品前面の電源ランプが赤色に点灯しているときは、リモコンの右上にある(電源)ボタンを押してください。

電源ランプ

電源ランプが青色に点灯します(すでに青色に点灯しているときは、そのまま手順❷へお進みください)。

※本製品前面の(電源)ボタンを押しても本製品の電源を入/切することができます。

❷ 左の画面が表示されるまでリモコンの左上にある(入力切換)ボタンを押します。

はじめに
これより、初期設定を始めます。
リモコンの[決定]ボタンを押してください。
リモコンでテレビの操作をするには、付属のマニュアルを参照してリモコンの設定をしてください。

テレビの画面

(ビデオ1、ビデオ2等の外部入力に切り換えます)。

※リモコンをテレビに向けて操作してください。
切り換わらない場合は、お使いのテレビに付属のリモコンをご使用ください。

❸ リモコンの(決定)ボタンを押します。

※手順❸以降はリモコンを本製品の受光部に向けて操作してください。

❹ お使いのテレビがワイドテレビ型かを選択し、リモコンの(決定)ボタンを押します。

❺ 画面の指示にしたがって接続の確認を行い、リモコンの(決定)ボタンを押します。

❻ お住まいの地方/地域をリモコンの上下ボタンで選択し、(決定)ボタンを押します。

❼ チャンネル検索が開始されます。

※チャンネル検索には最大10分程度時間がかかります。
10分経過してもチャンネルの検索が完了しないときは、本製品に接続されているACアダプターを取り付け直してください。
本製品起動後、手順❶からやり直してください。

リモコンの使用可能範囲

本製品を操作するときは、受光部に向かって次の範囲で操作をします。

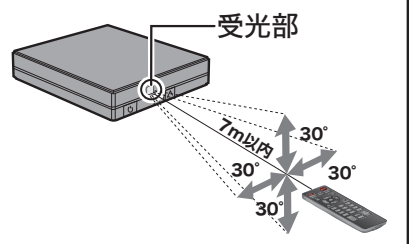
※受光部とリモコンの間を遮るような物を置かないでください。

受光部
7m以内
30°
30°
30°
30°

❽ チャンネル検索が完了すると、[リモコンボタン割当設定]画面が表示されます。

通常は初期設定のままリモコンの(決定)ボタンを押してください。

※リモコンの数字ボタンに割り当てる放送局を変更したい方は、各番号欄でリモコンの方向ボタン(右/左)を押して変更することができます。

初期設定が完了すると、検索したチャンネルの番組がテレビに表示されます。

うら面につづく

デジタル放送を視聴します

初期設定完了後、本製品の電源を入れるとテレビ画面にデジタル放送が表示されます。
リモコンで次のような操作をすることができます。

BS・110度CS放送のご契約について：
本製品付属のリモコンには、[青][赤][緑][黄][dデータ]ボタンはありません(BS・110度CS放送のご契約に上記ボタンは使用できません)。
そのため、ご契約には、インターネット、携帯電話、はがき等をお使いください。

チャンネルを変えます

チャンネルは、リモコンのチャンネル上下ボタン(または数字ボタン)か、本体前面のチャンネル上下ボタンで変更します。

マルチチャンネルの切り換えについて：現在視聴しているチャンネルが割り当てられているリモコンの数字ボタンを2回以上押すとマルチチャンネルに切り換わります。また、チャンネル上下ボタンを押すと、マルチチャンネルも含めて全てのチャンネルを一つずつ順に表示を切り換えます。

※マルチチャンネルとは、放送局がハイビジョン放送1番組の代わりに標準画質放送を同時に複数番組(2〜3番組)放送するチャンネルのことです。

放送波を切り換えます

地デジに切り換える: ▼(地デジ) を押します。　BS放送に切り換える：▶(BS) を押します。　110度CS放送に切り換える：(CS)◀ を押します。

番組表を見ます

リモコンの (番組表) ボタンを押すと、番組表を表示します。

番組表には3つの表示形式があります。

裏番組表　現在放送している番組の一覧を表示します。番組を選択し、リモコンの (決定) ボタンを押すと選択した放送局の視聴画面に切り換わります。
1局番組表　選択している放送局の1日分の番組表を表示します。番組を選択し、リモコンの (決定) ボタンを押すと番組の詳細情報を表示します。
裏番組表＋1局番組表　(番組表) ボタンを押すたびに視聴画面→裏番組表→1局番組表と切り換わります。

※表示形式は、メニューの[本体設定] - [画面と音声の設定] - [番組表の表示設定]画面で切り換えることができます。
※初期設定直後は視聴したことのある放送局以外の番組は表示されません(全てのチャンネルを一度視聴することで、番組表に情報が登録されます)。
待機状態のときに、3時間に1度番組情報(1日分)の取得を行います(番組情報取得中は電源ランプが赤色点灯します)。

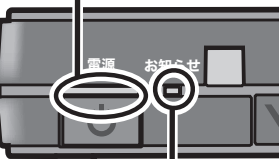
ズームボタンで適切な表示に切り換えます

画面に黒い帯があるときは、リモコンの (ズーム) ボタンで全画面表示に切り換えることができます。

上下に帯が入って表示されている。→ ズームボタンを押すと → 左右の一部がカットされ、画面いっぱいに表示されます。

上下・左右に帯が入って表示されている。→ ズームボタンを押すと → 画面いっぱいに表示されます。

※映像によっては (ズーム) ボタンを押しても黒い帯が表示されることがあります。このようなときは、お使いのテレビのマニュアルを参照して表示設定を調整してください。

ランプの点灯について (本製品のシステム更新のお知らせなど)

お知らせランプ 橙色点灯　本製品についてのお知らせがあります。リモコンの (メニュー) ボタンを押し、「お知らせ」からお知らせの内容を確認してください。

システムの更新の場合、テレビの電波を使って本製品のシステムが自動的に更新されます。本製品の設定画面「お知らせ」で更新時間を確認してください。
更新する時刻の10分前には必ずACアダプターを接続し、リモコンまたは本体の電源ボタンを押して「切」(待機状態)にしてください。更新中は画面に注意が表示(お知らせランプが橙色点滅)されます。画面の指示には必ずしたがってください。更新が完了すると、本製品の設定画面「お知らせ」に更新完了のメッセージが表示されます。

ランプ	状態	意味
お知らせランプ	橙色点滅	アップデート中
電源ランプ	青色点灯	電源入(テレビの視聴中)
電源ランプ	青色点滅	起動中
電源ランプ	赤色点灯	番組情報取得中
電源ランプ	赤色点滅	起動エラー(ACアダプターを接続しなおしても赤色点滅するときは、弊社修理センターに修理をご依頼ください。)
電源ランプ	消灯	電源切（待機状態）の状態、またはACアダプターを接続していない状態。

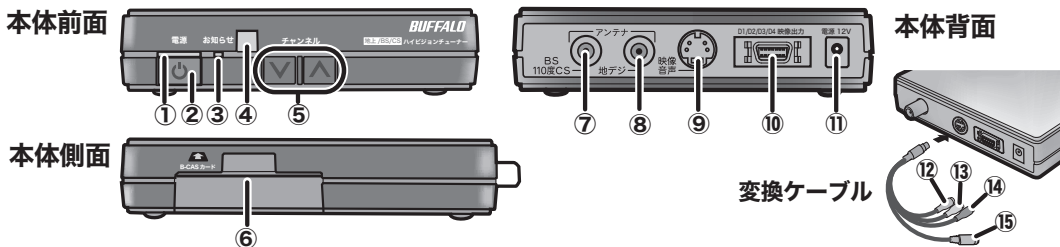
各部の名称とはたらき

リモコン

[青][赤][緑][黄][dデータ]ボタンはありません。
上記ボタンが必要なコンテンツには、本製品は対応していません。

ボタン	はたらき
電源ボタン	本製品の電源を入/切します。
電源(テレビ)ボタン	テレビの電源を入/切します。
入力切換(テレビ)ボタン	テレビを外部入力(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換えます。
字幕ボタン	字幕の表示を切り換えます(第1→第2→なし)。
音声切換ボタン	音声出力を切り換えます(主副:主+副→主→副、多国語:第1→第2→･･･)。
戻るボタン	前の画面に戻ります。
メニューボタン	本製品の設定画面を表示します。
▲/ 3桁入力ボタン	カーソルを上へ移動します。 番組視聴時に押すと3桁チャンネル番号を入力して チャンネルを切り換えることができます(視聴している放送波以外のチャンネ ルは選択できません)。
◀/ CSボタン	カーソルを左へ移動します。番組視聴時に押すと110度CSの視聴画面に切り換えます。 複数回押すとCS1、CS2を切り換えます。
▼/ 地デジボタン	カーソルを下へ移動します。番組視聴時に押すと地デジの視聴画面に切り換えます。
▶/ BSボタン	カーソルを右へ移動します。番組視聴時に押すとBSの視聴画面に切り換えます。
決定ボタン	選択した項目を決定します。
画面表示ボタン	視聴中の番組情報を表示します。
番組表ボタン	現在放送している番組一覧を表示します。
数字ボタン	チャンネル番号を入力します。
チャンネル上下ボタン	チャンネルを切り換えます。
ズームボタン	画面に黒い帯があるときに全画面表示に切り換えることができます。
音量(テレビ)ボタン	テレビの音量を調整します。
消音(テレビ)ボタン	テレビの音声を消音する/しないを切り換えます。

※「テレビ」と記載された枠内のボタンは、リモコンをテレビに向けて操作してください。それ以外のボタンは本製品の受光部にリモコンを向けて操作してください。

本体前面 / 本体側面 / 本体背面 / 変換ケーブル

No.	名称	はたらき
①	電源ランプ	上記「ランプの点灯について」をご参照ください。
②	電源ボタン	電源を入/切します。 ※長時間使用しないときは、ACアダプターを本製品から取り外してください。
③	お知らせランプ	上記「ランプの点灯について」をご参照ください。
④	赤外線受光部	リモコン信号の受光部です。 ※受光部の前に物を置くなどして、信号を遮らないでください。
⑤	チャンネル上下ボタン	チャンネルを切り換えます。
⑥	B-CASカード挿入口	付属のB-CASカードを挿入します。
⑦	BS/110度CS アンテナ入力端子	BSまたは110度CSデジタル放送対応のアンテナと接続します。市販のF型コネクターアンテナケーブルを別途ご用意ください。
⑧	地デジアンテナ入力端子	地デジのアンテナと接続します。市販のF型コネクターアンテナケーブルを別途ご用意ください。
⑨	複合出力端子	付属の変換ケーブルを接続します。
⑩	D端子	D端子ケーブルでテレビと接続できます。市販のD端子ケーブルを別途ご用意ください。
⑪	電源コネクター	付属のACアダプターを接続します。

No.	名称	はたらき
⑫	コンポジットビデオ出力(黄)	付属のビデオ/オーディオケーブルを接続します。
⑬	アナログ音声出力端子(左:白)	
⑭	アナログ音声出力端子(右:赤)	
⑮	S端子	S端子ケーブルでテレビと接続できます。 市販のS端子ケーブルを別途ご用意ください。

視聴年齢制限の設定手順

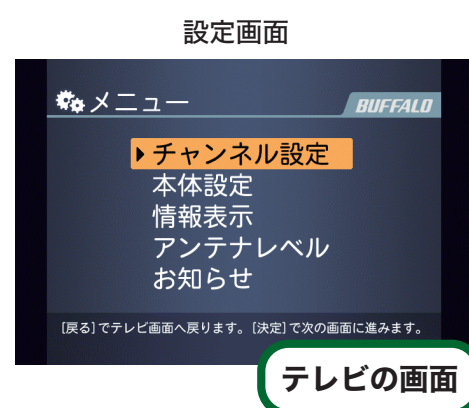
視聴年齢制限が設定された番組を見るには、本製品の視聴制限が対象の年齢に設定している必要があります。

1. リモコンの (メニュー) ボタンを押します。
2. [本体設定] を選択しリモコンの (決定) ボタンを押します。
3. [視聴制限設定]を選択し、リモコンの (決定) ボタンを押します。
4. [暗証番号の設定]を選択し、リモコンの (決定) ボタンを押します。
   ※初期設定は「制限なし」に設定されています。
5. 新しく暗証番号をリモコンで入力し、(決定) ボタンを押します。
   ※確認用暗証番号には新しく入力した暗証番号と同じ番号を入力してください。
   ※「0」を入力したいときは、リモコンの 10 を押してください。
6. [視聴年齢制限]を選択し、リモコンの (決定) ボタンを押します。
7. 暗証番号をリモコンで入力します。
8. 視聴許可年齢をリモコンの(CS)◀ ▶(BS)ボタンで選択し、(決定) ボタンを押します。

以上で視聴年齢制限の設定は完了です。

本製品の設定

リモコンの (メニュー) ボタンを押すと、本製品の設定画面を表示することができます。設定画面では、次のことが設定できます。

設定画面

項目			内容
チャンネル設定	地デジ	チャンネル取得	チャンネルの検索を行い、自動でチャンネルを取得します。 (引っ越しなどで電波の受信方法が変更されたときにチャンネル取得を実行し、チャンネルを再設定します。)
		リモコンボタン割当設定	リモコンの各数字ボタンに割り当てる放送局を選択します。
		チャンネルスキップ	リモコンのチャンネル上下ボタンでチャンネルを切り換えるときにスキップするチャンネルを指定します。
	BS	リモコンボタン割当設定	リモコンの各数字ボタンに割り当てる放送局を選択します。
		チャンネルスキップ	リモコンのチャンネル上下ボタンでチャンネルを切り換えるときにスキップするチャンネルを指定します。
	CS1	リモコンボタン割当設定	リモコンの各数字ボタンに割り当てる放送局を選択します。
		チャンネルスキップ	リモコンのチャンネル上下ボタンでチャンネルを切り換えるときにスキップするチャンネルを指定します。
	CS2	リモコンボタン割当設定	リモコンの各数字ボタンに割り当てる放送局を選択します。
		チャンネルスキップ	リモコンのチャンネル上下ボタンでチャンネルを切り換えるときにスキップするチャンネルを指定します。
本体設定	画面と音声の設定	テレビ画面の設定	テレビに応じて「ワイドテレビ(16:9)」「従来型テレビ(4:3)」を選択します。
		D端子出力の設定	D端子で接続した場合、D端子出力をD1、2、3、4から選択します。
		音声出力設定	音声出力を「ステレオ」「モノラル」から選択します。 二ヶ国語放送(主+副)等をステレオ音声非対応のテレビで見るときは、「モノラル」に設定してお使いください。
		文字スーパーの設定	災害速報などの文字スーパーの表示言語を「日本語」「英語」「なし」から選択します。
		番組表の表示設定	番組表の表示を「裏番組表」「1局番組表」「裏番組表+1局番組表」から選択します。
	機器設定	自動電源オフ設定	無操作状態が3時間つづくと本製品の電源が切れるよう設定できます。
		ソフトウェア自動更新	本製品のソフトウェアを自動で更新するよう設定できます。
		ランプの明るさ調節	本製品前面のランプの明るさを5段階で調節できます。
		BSアンテナ電源供給設定	BSアンテナに電源を供給するよう設定することができます。「自動設定」「常に供給する」「供給しない」から選択します。
		設定初期化	工場出荷時の設定に戻します。
	視聴制限設定	暗証番号の設定	視聴年齢制限の暗証番号(4桁)の設定を行います。
		暗証番号を削除	視聴年齢制限の暗証番号を削除します。
		視聴年齢制限	視聴年齢制限の年齢を4歳〜19歳、制限なし から選択します。
情報表示			本製品に搭載しているソフトウェアのバージョン、B-CASカードの情報を表示します。
アンテナレベル			チャンネルの電波の強度を表示します。
お知らせ	放送局からのお知らせ		放送局からお知らせがある場合には、メッセージを表示します。
	CSボード		CS放送局からお知らせがある場合には、メッセージを表示します。
	本機からのお知らせ		本製品からシステム更新のお知らせがある場合には、メッセージを表示します。

製品仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）をご参照ください。

項目	仕様
受信チャンネル	地上デジタル：UHF13 ch〜62 ch、VHF：1 ch〜12 ch、CATV：C13 ch〜C63 ch BS/110度CSデジタル：1032〜2071 MHz
アンテナ入力	F型コネクター（入力インピーダンス75 Ω）
対応機能	CATVパススルー、字幕放送、番組表
出力端子	Mini-DIN 7ピン(変換ケーブル接続用) コンポジット映像端子（RCAピン端子・変換ケーブル使用） ステレオ音声端子（RCAピン端子・変換ケーブル使用） S端子（Mini-DIN 4ピン・変換ケーブル使用） D端子（D1〜4端子）
電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	衛星放送アンテナに電源を供給しない場合 電源オン（視聴時）：6.3 W、電源オフ（待機時）：0.6 W
外形寸法	W125 x H28 x D143 mm（突起部を含まず）
重量	約260 g（本体のみ）
動作環境	温度0〜40 ℃、湿度10〜80 %（結露なきこと）

※本製品は、データ放送および双方向サービスには対応しておりません。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■本製品（付属品等を含む）を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

らくらく！セットアップシート　2011年6月29日　第2版発行　　発行／株式会社バッファロー